

「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2022年1月(第25回)は「モノが語る」—日常生活のコラボレーターとしてのものづくり—です。ポスタルコ創業者であるマイク・エーブルソンさんとエーブルソン友理さんをお迎えし、ものづくりに込められたメッセージについてお聞きします。

< 2022年1月(第25回) >

「モノが語る」 —日常生活のコラボレーターとしてのものづくり—

もし、みんなが機能だけに興味を持つなら、どんな道具も同じ存在になるでしょう。日常生活の「仲間」のようなモノは、私たちをどこか違う場所へ連れて行ってくれたり、新たな気分させてくれます。ポスタルコは、2000年にニューヨークで設立、現在は東京を拠点とし、プロダクト、パッケージ、インテリア、ウェブサイトなどのものづくり、デザイン活動を行っているデザインスタジオです。20年以上にわたり、様々なコラボレーションによって、クラフトを新しいデザインで蘇らせて、独自のストーリーを語ってきました。多くの企業のデザインコンサルティングを手がけ、デザインの幅を広げるポスタルコのファウンダーのお二人に、モノにどんなメッセージが織り込まれているかのお話をうかがいます。

日 時： 2022年1月19日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料： 無料

申込方法： Peatix (<https://peatix.com/event/3101241>)

右上のリンクボタン (またはQRコード) よりお申し込みください。

▶ お申し込み (Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講師 >



マイク・エーブルソン 氏 (ポスタルコ/プロダクトデザイナー)

1974年ロサンゼルス生まれ。ポスタルコを共同で設立する。日常のモノについて観察し、それを作ることで、人間についての理解を深めている。東京を拠点としてからは20年以上にもなり、日本の手仕事の技術とともに、ステーションナリー、ウェア、家具などをデザインし制作している。



エーブルソン友理 氏 (ポスタルコ/アートディレクター)

1971年東京生まれ。スイスとカリフォルニアで、グラフィックデザインを学ぶ。ポスタルコを共同で設立する。ポスタルコのコミュニケーションデザインを主に担当。女子美術大学ヴィジュアルデザイン非常勤講師。